



発行番号：第11A2732号
発行日：平成23年11月30日

品質性能試験報告書

依頼者 セキスイハイムサプライ株式会社

東京都台東区東上野6-2-1 グラフスクエア東上野5F

試験名称 フラクタル目よけの性能試験

標記試験結果は本報告のとおりであることを証明します。

財団法人 建材試験センター
中央試験所長 黒木 勝
埼玉県草加市稲荷5丁目2番20号



[試験名称]

フラクタル日よけの性能試験

[目次]

1. 試験の内容	-----	2
2. 試験体	-----	2
3. 試験方法	-----	4
4. 試験結果	-----	8
5. 試験の期間, 担当者及び場所	-----	8

1. 試験の内容

セキスイハイムサプライ株式会社から提出されたフラクタル日よけ「エアリーシェード」について送風試験を行った。

2. 試験体

試験体は、AES樹脂製のフラクタル日よけである。

本試験ではアルミニウム合金製のフレーム上に10個のフラクタル日よけを連結させて設置した。

なお、試験体の設置条件は試験体に対する送風方向及び設置角度を変えて3条件とした。

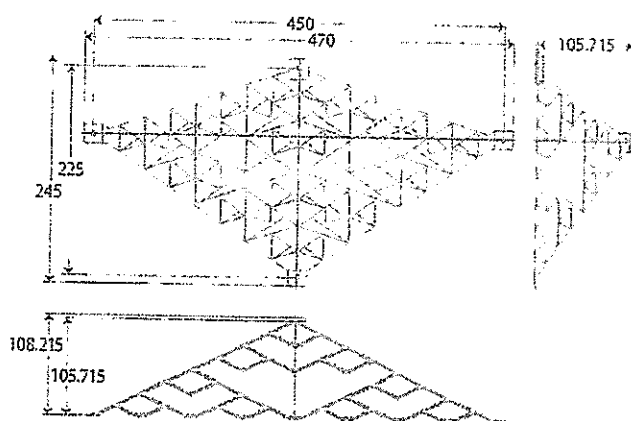
試験体の概要を表-1、図-1及び写真-1に示す。

表-1 試験体の概要

条件	試験体に対する送風方向 (設置角度)	商品名	材料	図及び写真
I	側面への送風 (水平)	エアリーシェード	フラクタル日よけ：AES樹脂 フレーム：アルミニウム合金	図-1 写真-1
II	正面への送風 (水平)			
III	正面への送風 (45度)			
備考	条件IIIは試験体設置角度を45度に設定したため、送風範囲から外れてしまう部分が試験体に生じる。 よって、本条件については局所的な送風試験として実施した。			

単位：mm

製品図面



製品情報

製品寸法	W470 D245 H108
標準重量	約165g
素材	AES樹脂

フラクタル単体詳細図

図-1 試験体

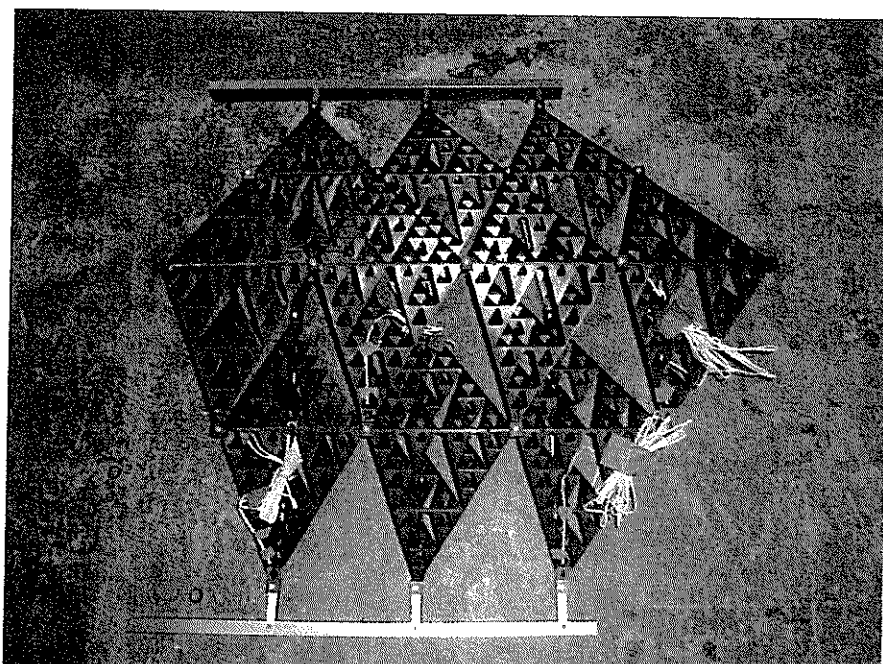


写真-1 試験体

3. 試験方法

試験は、図-2に示す送風試験装置を使用して行った。

試験体を送風試験装置吹き出し口前に設置し、風速を段階的に上昇させた際の試験体の異常の有無を目視によって観察した。

試験条件を表-2に示す。

試験状況を写真-2～写真-4に示す。

表-2 試験条件

送風機吹き出し口寸法		W : 1200mm×H : 400mm
設定風速	条件Ⅰ	30,40,50 (m/s)
	条件Ⅱ	50 (m/s)
	条件Ⅲ	30,40,50 (m/s)
各風速保持時間	条件Ⅰ	各 10 分
	条件Ⅱ	10 分
	条件Ⅲ	各 10 分
送風距離 (送風機吹き出し口から試験体先端までの距離)	条件Ⅰ	170mm
	条件Ⅱ	110mm
	条件Ⅲ	450mm
備考	条件Ⅰ： 試験体に対する送風方向（側面） 条件Ⅱ： 試験体に対する送風方向（正面） 条件Ⅲ： 試験体に対する送風方向（正面）	試験体設置角度（水平） 試験体設置角度（水平） 試験体設置角度（45度）

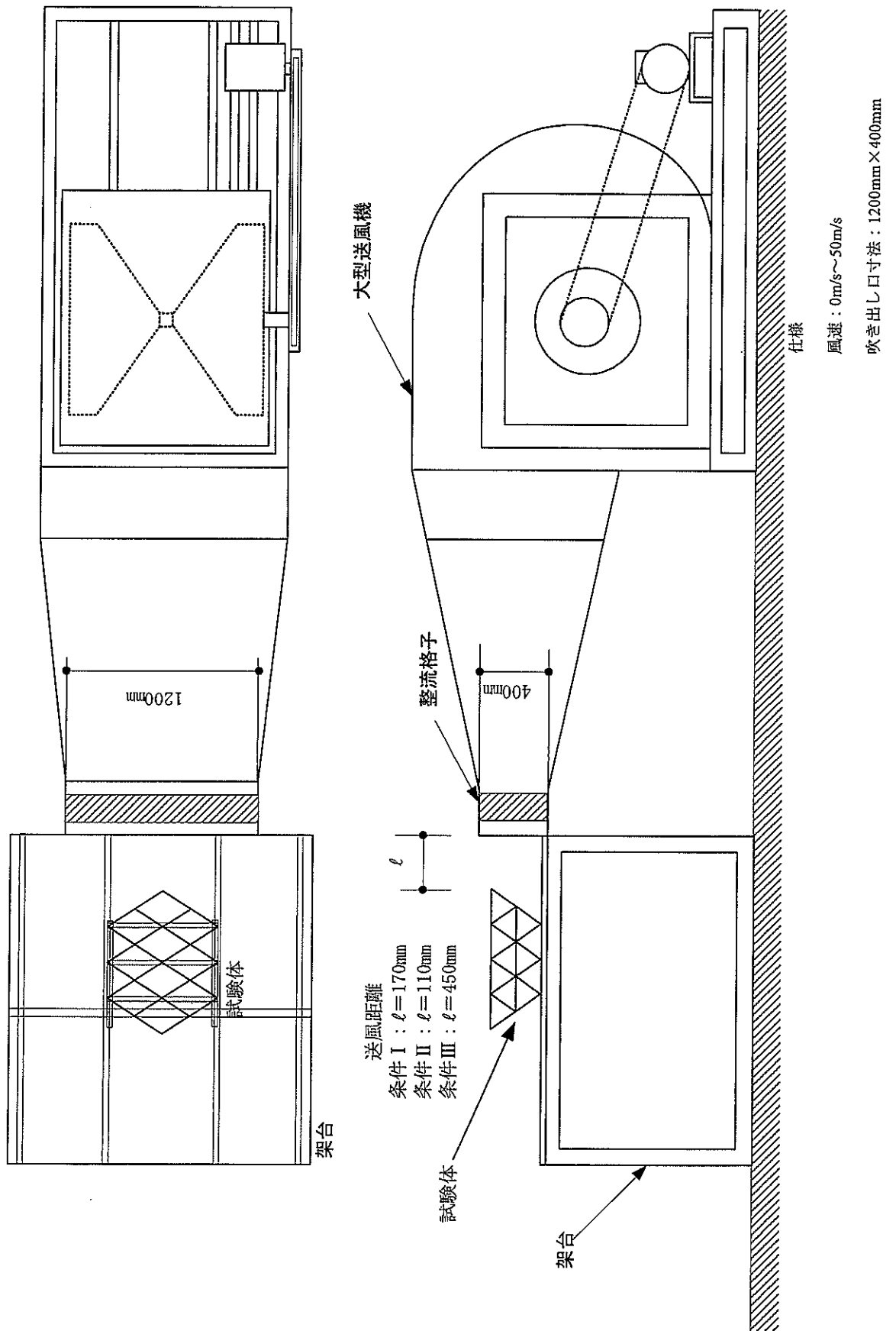


図-2 試験装置図



写真-2 試験状況（条件Ⅰ）



写真-3 試験状況（条件Ⅱ）



写真-4 試験状況（条件Ⅲ）

4. 試験結果

条件Ⅰ：風速 50m/s まで試験体に異常は認められなかった。

条件Ⅱ：風速 50m/s まで試験体に異常は認められなかった。

条件Ⅲ：風速 50m/s まで試験体に異常は認められなかった。

以上の試験結果を一覧にして表-3 に示す。

表-3 試験結果

条件	風速 (m/s)	試験体状況
Ⅰ	30	異常なし
	40	異常なし
	50	異常なし
Ⅱ	50	異常なし
Ⅲ	30	異常なし
	40	異常なし
	50	異常なし

5. 試験の期間、担当者及び場所

期 間 平成23年11月18日

担 当 者 環 境 グ ル ー プ
 統括リーダー 藤 本 哲 夫
 試験責任者 和 田 暢 治
 試験実施者 松 本 知 大
 松 本 智 史
 森 濱 直 之

場 所 中 央 試 験 所

以下余白